

区政世論調査にご協力を

区政世論調査の調査票が届いている方は、提出期限が近づいていますので、お早めにご回答ください。ご協力をお願いします。

問 広報課 広報係

☎(3546)5222



6月は環境月間

6月5日は「世界環境デー」です。これは1972年にストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。

日本では、環境についての関心と理解を深めるとともに、環境活動への意欲を高めるため、6月5日を「環境の日」、6月の1カ月間を「環境月間」と定めています。

期間中、環境保全の重要性を認識

し、環境に配慮した行動の契機となるよう、エコまつりや環境情報センターでのさまざまなイベントを行います。

みなさんもイベントに参加し、環境について考えてみませんか。

問 環境課 環境啓発係

☎(6278)8243



環境情報センターイベント▶

第20回 中央区エコまつり開催!

~知ろう! やろう! 私たちにできるエコ~

リサイクルやごみの減量、自然保護や省エネルギーなどさまざまな環境問題を、クイズや体験を通して楽しみながら学ぶことができる環境イベント「エコまつり」を開催します。子どもから大人まで、みんなが楽しめるイベントです。

日時

6月4日(日)

午前10時~午後3時

会場

あかつき公園

内容

知る・考えるコーナー
省エネクイズと手回し発電にチャレンジ、ゲームで覚えよう!ごみ・資源の正しい分け方 など

作る・体験するコーナー

「中央区の森」間伐材でワークショップ&丸太切り体験、江戸バスの運転席体験 など

修理するコーナー

中央おもちゃの病院コーナー

その他

リサイクル自転車の販売、「中央区の森」がある檜原村の特産品の販売 など

◎ご来場の際は、公共交通機関などをご利用ください。

◎雨天決行(荒天中止)

◎区民フリーマーケット

は実施しません。

問 環境課 環境啓発係

☎(3546)9592



トピックス



第33回 ファミリースポーツデー

5月3日、総合スポーツセンターを無料開放し、多くの皆さんにスポーツを楽しんでもらうイベント「第34回ファミリースポーツデー」が開催されました。参加した皆さんは指導者のアドバイスを受けながら、アーチェリーやトランポリンなど普段はなかなか体験することのできないさまざまな競技に挑戦し、楽しみながら思う存分体を動かしました。

環境情報センター愛称名募集

環境情報センターは、令和5年6月2日に開設10周年を迎えます。

区民・事業者の皆さんの環境活動の拠点として、より親しみを持てる施設となるよう、愛称名を募集しています。たくさんのご応募お待ちしております。

◎採用者には、10月8日(日)開催予定の愛称発表イベントにおいて、記念品の贈呈を行います。

応募資格

区内在住・在勤・在学者

応募期間

6月25日まで

記念品

ミニ間伐ザウルス1体

環境情報センターの入り口にある「間伐ザウルス」のミニチュア版(全長20cm程度)

◎採用またはそれに準ずる愛称名の該当が複数ある場合は抽選

応募方法

環境情報センター、区役所7階環境課窓口で配布している応募用紙に必要事項を記入し、投票箱に投函するか、HPから応募してください。

◎応募用紙は、HPからもダウンロード可能

問 環境情報センター

☎(6225)2433



環境情報センター▶

区内の文化財

佃島旧名主森家及び関係資料

区民有形文化財 歴史資料
新富一丁目13番14号 郷土資料館

佃一丁目の中心部(1番~10番街区)は、江戸時代に埋め立て造成された「佃島」が原形となっています。当地は、摂津国西成郡(現在の大阪市西淀川区)在住の漁師たちが江戸へ下り、正保元年(1644)に幕府から拝領した鉄砲洲(現在の湊・明石町)沖の干潟100間(約181メートル)四方を埋め立てて築いたといわれています。

なお、正保元年の築島から名主制度が廃止される明治2年(1869)まで、佃島の名主は初代(佃忠兵衛)から13代(森幸右衛門)続く世襲名主として襲職されてきました。その概要については、築地本願寺境内に立つ「佃島初代名主 佃忠兵衛報恩塔」(令和2年2月21日号の記事)の中で、江戸時代前期に

行われた佃島の造成や本願寺の築地移転・再興に尽力した佃島門徒の解説とともに紹介しました。

今回の文化財は、佃島の町政を取り仕切ってきた名主家伝来の貴重な歴史資料です。当該資料は、初代名主佃忠兵衛から連なる血族・世襲名主の家柄である森家に代々受け継がれてきたもので、江戸時代中期から昭和中期までの資料群(69件)となっています。

主な資料を挙げると、当家の歴史を裏付ける森家系譜・先祖書上・先祖由緒覚書、江戸時代の土地利用の様相が分かる佃島売券絵図・深川佃町絵図、築地本願寺境内の墓碑(「篤行院釋久西居士」〈佃島初代名主 佃忠兵衛報恩塔〉)建立由緒書・同墓碑に関する東京府知事宛の史跡指定申請書、14代目(森幸右衛門改め森謹一郎)による森家・佃島に関する研究資料、方形の角印鑑「森家之印」など多岐にわたります。さらには、江戸近辺の海川での漁業勝手に関するお墨付きとして知られる「綱引御免証文」(慶長18年(1613)の原資料)を撮影した記念の古写真をはじめ、佃島門徒による本願寺内の寺地使用に関する京都本山の許可

状「地所取斗之義書状」(文政9年(1826)9月カ)の断簡なども現存しており、歴史的にも極めて重要かつ希少性の高い資料類が含まれています。

既往の研究では、佃島の開基や名主の名に森孫右衛門を挙げるケースが多くみられますが、摂津国佃村に本拠を置く孫右衛門(本国佃村で死没)は江戸に年々出府する身であったため、江戸佃島の長であり島内の行政事務一切をつかさどる名主「佃忠兵衛」が町役人として極めて重要な役割を担いました。中でも、初代名主の佃忠兵衛は一族から佃島の開祖(元祖)として称えられてきた人物であり、初代に連なる血族の森家に名主伝来の資料が継承されてきたという歴史的な経緯があります。

なお、初代名主佃忠兵衛は、森九左衛門(孫右衛門の実弟で日本橋の魚問屋商人)の娘を妻に迎えており、6代目(佃忠兵衛)の後の7代目(森幸右衛門)から継嗣不在で絶家の憂き目に遭った九左衛門家に代わって家康下賜とされる「森」の姓を引き継ぎ、以来今日ま



▲「地所取斗之義書状」(佃島旧名主森家及び関係資料)

で名主家の血脈が連続と受け継がれてきました。また、江戸時代以来、代々佃島に居住してきた名主の森家は、明治後期に至って14代目(森謹一郎)の時に島外へと転出しており、政府の官吏(文官)を務めた記録類も残されています。

ちなみに、現在の佃一丁目には、旧名主の森家居住地に祭られていた屋敷神(稲荷神)が継承されており、旧地所の一角(佃一丁目4番4号)に「森稲荷神社」として鎮座しています。

佃島旧名主の森家に伝来してきた本資料群は、佃島の歴史はもとより、同島の名主に関する極めて信ぴょう性の高い学術的価値を有する歴史資料となっています。

中央区教育委員会

学芸員 増山一成

(8)

「区のおしらせ ちゅうおう」は区役所、特別出張所、区民館などの区施設、コミュニティバス、区内公衆浴場、一部金融機関、百貨店、ファミリーマート(一部店舗を除く)、都営地下鉄の駅(東銀座・宝町・築地市場・日本橋・人形町・東日本橋・馬喰横山・浜町・勝どき・月島)、東京メトロの駅(京橋・銀座・東銀座・新富町・築地・八丁堀・三越前・日本橋・人形町・茅場町・小伝馬町・水天宮前・月島)、JRの駅(新日本橋・馬喰町)、文化堂でも配布しています。

凡例
※費用の記載がないものは無料
問 問い合わせ(申込)先
HP ホームページ
Eメールアドレス

ちゅうおう 区のおしらせ



SNSなど 区の公式

